

【様式】

令和2年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立鳥羽高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		これからの地域社会をささえる若者が育ち合う学校 ～子どもたちが地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する～
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○学校に誇りを持ち、地域社会をささえる若者として、自らの成長を実感し、自己肯定感、コミュニケーション能力を向上させている。 ○それぞれの進路実現に向けて、基礎的・総合的な学力や社会的・職業的自立に必要な能力と態度を身につけている。 ○学校の教育活動や地域貢献活動が、鳥羽・伊勢志摩地域の活性化につながり、地域を支える市民に成長する。 ○国際交流活動を積極的に取り組み、豊かな国際感覚を身につけている。 ○命の大切さや他者の立場を理解し、自らを律し、思いやりを持って行動できる。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動を通じて教職員が生徒の成長を実感し合い、誇りと自信を持って学校の組織力を向上させる教職員。 ○授業を大切に、生徒の基礎学力の定着・向上に取り組むとともに、本校の特色を生かした地域学習や体験的活動を通して総合的な学力を育むことに前向きに取り組む教職員。 ○一丸となって子どもに向き合い、様々な職種、若手と経験豊かな職員が対話を通じて学び合っている教職員集団。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>【生徒】 高校生活の充実（基礎学力の定着・発展的学力の伸長・部活動・仲間づくり）、進路実現</p> <p>【保護者】 子どもの学力・コミュニケーション力・社会性の向上、進路希望の実現、安全で安心して学べる学校</p> <p>【地域】 観光・防災等の地域の活性化への貢献、生涯学習・住民交流の場の提供、生徒の健全育成</p> <p>【企業・大学等の進路先】 社会的・職業的自立に必要な生徒の基礎学力・基本的生活習慣の育成・定着</p>	
	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>【保護者】 子どもの進路実現、安全・安心の学校づくり</p> <p>【中学校】 生徒の進路保障、中高連携の推進</p> <p>【地域】 地域社会の活性化、生涯学習の場の提供</p> <p>【企業・大学等】 基礎学力の定着・向上、基本的生活習慣の育成</p>	<p>【保護者】 PTA活動等生徒の成長支援への連携・協力</p> <p>【中学校】 生徒の継続した成長支援のための情報共有、中高連携の推進</p> <p>【地域】 地域学習活動の機会・素材・人材の提供、生徒の健全育成活動での連携・協力</p> <p>【企業・大学等】 キャリア教育や地域学習等の素材・人材・場の提供</p>

<p>(3) 前年度の学校関係者評価等</p>	<p>① 学習指導：授業力の向上にむけて 基本である授業を大切にしながら、スタディサプリの活用など生徒の学習支援についての取組が成果をあげられるよう継続して活用方法を研究する必要がある。さらに、ICTの活用やアクティブラーニングなど生徒の興味関心を引き出す指導、「わかる授業づくり」にむけ、教員も楽しく学力を向上させる体制の構築が必要である。</p> <p>② 生徒指導：生徒会の活性化にむけて 生徒会の自主的な活動を広げ、より一層生徒が主体的に取り組む姿勢を育成することを期待する。</p> <p>③ 学校運営：働き方改革にむけて 「鳥羽学」をはじめとした地域課題解決型授業、「とぼっこくらぶ」を中心とした地域と連携した取組、地域の催しへのボランティア参加や「鳥羽レンジャー」などの地域貢献の活動など、様々な取組は確実に進んでいる。しかし、この取組が教職員の負担にならないよう、働き方改革を推進し、バランスよく実施されることを期待する。</p>
	<p>(4) 現状と課題</p>
<p>学校運営等</p>	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>1 組織的な授業研究、授業改善及び教材開発に取り組み、子どもたちの基礎学力の定着・発展的学力の伸長を図り、一人ひとりの進路実現につなげる。</p> <p>2 観光教育の視点での地域学習を推進し、体験的活動を通して、確かな学力や自尊感情、自らの未来を切り開く意欲・態度を育てる。</p> <p>3 学力の向上とともに、部活動の活性化を促進し、地域社会に貢献できる人材を育成する。</p>
学校運営等	<p>1 平成27年度から改編された総合学科の系列学習が円滑に実施できるよう校内外での条件整備に取り組む。</p> <p>2 全職員がまとまって子どもに向き合い、一人ひとりの成長を支援できるよう、組織力の向上と前向きな学校文化の醸成を図る。</p> <p>3 組織のしくみの改善や働きやすい職場づくりに取り組む。</p>

4 本年度の行動計画と評価

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。(□で表示)

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。(■で表示)

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

【結果欄について】○: 目標を達成、●: 目標を未達成

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習指導の充実	<p>(1)基礎学力の定着・向上</p> <p>①生徒の学力の客観的な把握と学力に不安のある生徒への継続的な指導に取り組む。</p> <p>□スタディサプリ等の実施と活用</p> <p>□学力に不安のある生徒に対する課題・補習等の継続した指導の実施</p> <p>②学習習慣を確立し、家庭での学習を促進する。</p> <p>□授業における日常的な小テストや課題・宿題の実施</p> <p>□TT や少人数授業等によるきめ細かい指導</p> <p>③組織的な「学び直し」を授業内外で行う。</p> <p>□「マナトレ」「スタディサプリ」等を活用した授業における継続的な学び直しの実施</p> <p>□「朝学」の実施</p> <p>④「わかる授業」、学習意欲を高める学習活動をめざし、組織的な授業改善、授業研究及び教材開発を図る。</p> <p>□授業公開週間:年2回設定・実施</p> <p>□公開研究授業及び授業力向上研修:年2回実施</p> <p>□授業改善に関する校外での教員研修への参加:年間5人以上</p> <p>□教科会を授業改善の研究・交流の場として活用:各学期1回以上実施</p> <p>□ユニバーサルデザインを意識した授業に向けての教室等の環境整備</p> <p>□地域の中学校と連携した授業改善に関する取</p>	<p>(1)①○スタディサプリ到達度テスト実施(①4月→5月、②1月)、結果の分析、授業・長期休業の宿題・補講での取組や課題の配信</p> <p>到達度テストの正答率及び正答率25%未満の項目</p> <p>1学年:正答率 49.7% → 51.8%</p> <p>37/236= 15.7% → 31/236=13.1%</p> <p>2学年:正答率 45.3% → 42.9%</p> <p>82/252= 32.5% → 92/252=36.5%</p> <p>3学年:正答率 43.8% → 43.7%</p> <p>71/252= 28.2% → 69/252=27.4%</p> <p>○考査前の学習会や補習の実施</p> <p>②○英語・国語・理科・家庭・福祉・商業・情報の授業でTT・少人数授業実施</p> <p>③○朝学(学年)、スタディサプリ(教務、学年、数学)実施</p> <p>④○授業公開週間:6/10~6/17、11/2~11/13</p> <p>○「授業改善パートナーズ」への参加(数学科1名)、6年次研修(保健体育科1</p>	<p>※</p> <p>◎</p> <p>※</p> <p>※</p>

	<p>組:公開授業等への相互参加5人/年</p> <p>⑤社会人として必要なスキルを身につけるため各種検定試験や資格取得に取り組む。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力の習得・向上</p> <p>①主体的・対話的で深い学び、生徒主体の授業づくりに向けての実践研究に取り組む。</p> <p>□全教科でアクティブラーニングを取り入れた授業づくりの実施</p> <p>②授業等における発表や総合学科発表会等、生徒の学びの成果を発表する校内外の機会を充実させる。</p> <p>□校内外での公開発表会の実施・参加:年間5回以上</p>	<p>名、福祉科1名)、初任者研修(英語科1名)</p> <p>⑤○全商英語検定1年全員受検(9/6 29名合格)</p> <p>(2)①○各教科で取組</p> <p>②○駐日クロアチア大使講演(11/10)、総合学科研究大会(12/24)、地域創造サミット(12/19, 26, 27:コロナで中止)、総合学科発表会(1/29)、鳥羽学成果発表会(2/4 なかまち、石鏡町:コロナで中止、2/25 校内発表)</p>	※
生徒指導の充実	<p>(1) 自尊感情・規範意識・人権感覚の涵養</p> <p>①授業規律確保の指導を徹底する。</p> <p>②挨拶や言葉遣い、頭髪や服装等、基本的な生活習慣の確保や規範意識・コミュニケーション力向上の指導を全職員で徹底するとともに、自尊感情を育む生徒へのあたたかい声かけを行う。</p> <p>□挨拶指導の徹底</p> <p>□制服等の着こなし指導、異装束等の預かり指導の徹底</p> <p>□毎朝の登校指導、授業時間中の校内巡視の実施</p> <p>③生徒の環境美化意識の向上を図り、清掃活動・環境美化活動の充実・徹底に取り組む。</p> <p>□クリーン週間の実施:各学期1回</p> <p>□校外環境美化活動:年2回</p> <p>④人権教育推進計画及び人権教育カリキュラムに基づき、計画的な人権学習を推進する。</p> <p>□公開人権 LHR の実施:年1回</p> <p>(2)いのちを大切にす教育の推進</p> <p>□各教科等において「いのちを大切にす教育」を内容とした授業の実施:年間1回以上</p> <p>□「いのちの大切さ」に関する生徒向け講話・講演等の実施:年間1回以上</p> <p>□カウンセリングマインド・アンガーマネジメント等に関する校内研修の実施:年間1回以上</p> <p>(3)いじめを許さない姿勢の育成</p> <p>□いじめ防止アンケートの実施:年間3回以上</p> <p>(4)生徒情報の的確な把握と情報共有を進め、専門家・機関と連携した生徒指導、教育相談を行う。</p>	<p>(1)①○鳥羽高校版「授業のきまり」の徹底、授業観察カードの活用</p> <p>②○教員・生徒(生徒会役員)による朝のあいさつ活動を実施:教員は毎授業日実施、生徒会は11月に3日間実施</p> <p>○毎日の登校指導、下校指導、校内巡視を実施</p> <p>○生徒会・生徒有志による地域防犯・交通安全ボランティア「鳥羽レンジャー」の取組:3回実施</p> <p>③○校内美化強化週間・クリーン週間を各学期に実施</p> <p>○校外環境美化活動:1学期末(雨天中止)・2学期末(12/6)実施</p> <p>④○各学期に公開人権 LHR 実施</p> <p>(2) ○各教科で工夫しながら「命を大切にす教育」を内容とした授業に取り組んでいる。</p> <p>○性教育講座、DV 防止講座、薬物乱用防止教室、人権講演会を実施</p>	◎ ※

	<input type="checkbox"/> 人権教育推進委員会での生徒情報共有:月1回 <input type="checkbox"/> 支援委員会での支援対象生徒情報共有:各学期2回 <input type="checkbox"/> スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、特別支援員との連携	(3)○アンケートを実施 (4)○人権教育推進委員会毎月開催、生徒情報交換を実施。 ○支援委員会各学期2回開催 ○SC、SSWの活用:保健部、人推を窓口 に連携	
キャリア教育の充実と進路保障の取組	(1)基礎学力の定着・向上 ①総合的な学習の時間や朝学の時間を活用し、基礎学力の必要性を理解させ、学びを深める。 ②生徒の進路希望や実態を踏まえ、進学や資格取得のための補習や個別指導に取り組む。 (2)確かな進路実現に向けた細やかな進路指導とコミュニケーション力の向上に取り組む。 ①進路決定につながる情報や資料を具体的に生徒に提示し、面談を密に行う。 ②職場定着サポーターと連携・協力し、全教員による実践的な面接指導を実施する。	(1)①○朝学や総学の時間にプリントやドリル学習を実施。 ②○進学希望者向けの課外を実施 (2)①○夏季休業中に3年担任団・進路指導部による面談・指導を実施 ②○2学期始めに全教員と就職支援相談員による面接指導を実施。	◎
学校の魅力化・活性化と地域学習の推進	(1)市当局や小中学校、地域関係者等の参画による学校活性化協議会を開催し、活性化プランに基づく取組を推進する。 <input type="checkbox"/> 協議会の開催:年間3回 (2)各教科、系列の授業や「産業社会と人間」等での地域学習の充実を図る。 <input type="checkbox"/> 外部講師による地域学習・フィールドワーク:年間20回以上 <input type="checkbox"/> 鳥羽市との連携・協働による地域課題解決型授業の構築 (3)デュアルシステム及びインターンシップの円滑な実施と課題改善に努める。 (4)観光教育の視点での地域学習を推進する。 ①全国高等学校観光教育研究協議会主催「全国高等学校観光教育研究大会」「観高サミット」への教員・生徒の参加 ②「全国高等学校観光選手権大会」への参加を核とした地域学習の取組 ③県外の高等学校との定期的な観光教育学習の交流 (5)国際交流を積極的に推進し、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成を図る。 <input type="checkbox"/> 国際交流活動:年間2回以上 <input type="checkbox"/> 海外研修の実施	(1)○活性化協議会3回開催(7、12、3月) (2)○外部講師による地域学習(産社:1回、9/25 職業人インタビュー8名、鳥羽学:3回、(6/25、7/9、10/8)、フィールドワーク授業(産社:2回(4月答志島、11月神島ともコロナで中止)、鳥羽学5回程度実施) ○文理進学系列2年学校設定科目『鳥羽学』の授業で、鳥羽市と連携した課題解決型学習実施:なかまちコース「動画制作」、石鏡町コース「VR映像制作」、水産研究所「各テーマ研究」の取組 (4)①●「全国高等学校観光教育研究大会」、観高サミットへは、コロナのため不参加 ③●県外の高等学校との観光教育の交流についてはコロナのため中止 ○愛知県福江高校での野球部合同練習(9/20)	◎ ※

	<p>を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 定時退校日の定時退校率:全職員の80%以上 ・昨年度より多くの休暇を取得する。 ■ 休暇取得:1人当たりの年間休暇取得日数10日以上 ・時間外労働時間の削減を推進する。 ■ 1人当たりの月平均時間外労働25時間以下 ■ 年360時間を超える時間外労働者数0人 ■ 月45時間を超える時間外労働者の延べ人数0人 <p>(2) 学校部活動運営方針を策定し、運用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 予定通り休養日を実施できた部活動の割合80%以上 <p>(3) 「信頼される学校であるための行動計画」の取組推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> コンプライアンスミーティングの実施:年3回以上 (各回は体罰に関する内容を必ず含む) 	<p>(2) ○部活動休養日 80%以上</p> <p>(3) ○コンプライアンスミーティング:年3回実施</p>	<p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>
--	--	---	---

改善課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にも新型コロナウイルス感染症拡大のため様々な教育活動が中止または縮小される中、本校においては国際交流をはじめコロナ禍においても新たな取組を実践したため「広報とば」をはじめ、様々なメディアに鳥羽高校が紹介された。次年度以降も国際交流をはじめ地元地域と連携した取組を充実させ、鳥羽高校の魅力ある発信に努めたい。 ・様々な取組が教員の負担にならないように注意したい。 	

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の中における小中学校の児童生徒、教員、保護者等との連携、交流や情報発信の方法を検討する。 ・生徒が作成した動画やVRを使った学校のPR活動。 ・ICT教育に必要なタブレットやノートパソコンの配布。
----------------------------	---

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の小中学校との英語教育や環境教育での交流及び教員同士の交流。 ・さらなる国際交流の充実。
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「スタディサプリ」や海外とSNSで交流ができるインターネットの環境及び機器の整備。 ・小中高の公開授業等への参加の促進。 ・定時退校、部活動休養日の徹底による総勤務時間縮減の定着。